

DBJ環境格付活用
フタムラ化学に融資

大垣共立銀

大垣共立銀行は8日、日本政策投資銀行(DBJ)と共同で、化学メーカーのフタムラ化学(名古屋市中村区)にDBJが開発した環境格付け「DBJ環境格付」を活用してシンジケートローンを組成し、計29億円の融資を実行したと発表した。同格付を用いてシンジケートローンを組成するのは東海4県で初めて。

同格付は企業の環境経営度を評点化し、得点に応じて融資条件を設定する。フタムラは、植物繊維「セルロース」100%の不織布

を、有害物質を排出しない方法で量産する技術を世界で初めて開発。同ローンで調達した資金を使い、同技術を使った生産設備を大垣工場(大垣市本今町)に新設する。同ローンには両行に加え、大垣西濃信用金庫と県信用農業協同組合連合会(JA岐阜信連)が参加した。